

講演：「大阪湾港湾の基本構想～スマートベイの実現を目指して～」のフォローアップについて

(第70回月例会)

■講演概要等

平成27年12月に「大阪湾港湾の基本構想」が策定されて4年が経過しておりますところ、この間にも港湾を取り巻く状況は時々刻々と変化し、国土交通省港湾局では、平成30年7月に港湾の中長期政策「PORT2030」を策定し、令和元年6月には「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」の見直しがなされています。

近畿地方整備局では、このような状況の変化に対応すべく、令和元年8月に「大阪湾港湾の基本構想～スマートベイの実現を目指して～」のフォローアップを行っています。

今回は、このフォローアップの具体的施策についてお話しいただくこととしております。

本日の講師である相木敢氏は、平成19年に国土交通省入省、主に同省港湾局において企画・計画を中心に政策立案業務に携わり、平成30年7月から現職に就かれ、予算・計画・事業評価等の業務を担当するとともに、フォローアップを担当されています。

■講師

講師 国土交通省近畿地方整備局港湾空港部
計画企画官 相木 敢 (あいき つよし) 氏

■開催日時

令和2年2月25日(火) 15:00～16:30頃まで

■開催場所

起業プラザひょうご セミナールーム
神戸市中央区雲井通5丁目3-1 (サンパルビル 6階) 電話 078 (862) 5302



■主催

公益社団法人 神戸海難防止研究会 (担当: 渡川又は藤原)
電話 078 (332) 2035

入場無料 (定員50名)